第１学年　算数科授業案

授業者　１年❸

１　単元　　「ヘビヘビじゃんけん」でどっちがながい？～ながさ～

２　本時の目標

・間接比較を活用して、長さの大小を比較することができる。（技能）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習形態 | アンプラグドプログラミング　 | 使用機器 | 大型テレビ、OHC、HDMIケーブル、タブレット端末、ワイヤレスディスプレイ |
| プログラミング的思考とのつながり | ＰＭＩツールを用いることで、よさや欠点を見やすくまとめ、情報を比較しやすくすることができる。 |

３　展開

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 学　　　習　　　活　　　動　　　　　　　　　※教師の支援　◆ＩＣＴ機器の活用　☆評価 |
| ５2540 | ◆前回の授業の様子を思い出して発言ができるようにするため、大型テレビに、前回の授業の様子を映す。長さの比べ方の確認をして、ヘビヘビ長さじゃんけんの２回戦をしよう・もう１回できるから、今度は長いのを作ったよどうやって比べればいいかな○先生のヘビとヘビヘビ長さじゃんけんをしよう！・「ピンピタ法」はどうかな？▲何回も比べると切れちゃうから、使えそうにないね・手を広げたら比べられないかな・指をしゃくとり虫みたいに動かせばいいかな▲大きさが変わっちゃうからだめだね・ヘビの横に数図ブロックを並べればわかりそうだね▲今日は数図ブロックがないから、今からやるのは難しいね◆教師の作ったヘビの長さを一斉に共有できるようにするため、ＯＨＣを使って教師のヘビを大型テレビに映す。・２年生が紙テープを使って、野菜の長さをはかっていたよ・何回もやっていたから、たくさんできるね※意見を出しやすいようにするために、前回の方法だと困るところから考えさせる。・紙テープを先生のヘビと同じ長さにすればいいんじゃない・紙テープならばたくさんできるし、引っ張っても切れないね・紙テープがあれば「ピタッと法」と同じようにできるね ・先生のヘビは６人に勝っているよ「ピンビリピタ法」の比べ方①先生のヘビをまっすぐピンと伸ばそう！②先生のヘビの長さに紙テープをビリ！③ピンとしたひもと自分のヘビの端をピタッとそろえようそろ※意見がまとまらなかったり意見が出なかったりしたときは、ペアや小グループで話をする時間をとる。自分のヘビは何人に勝っているかな ※ピンビリピタ法のよさに気づくことができるようにするために、比べる活動の時間をあえて短くする。○ピンビリピタ法を使って、みんなのヘビと比べよう　・ひもをヘビと同じ長さにしないとね　・私は７人に勝つことができたよ　・僕は全員に勝つことができたよ　・動かせないものも、比べられたよ※何人と対戦したかが一目でわかるように、思考ツールとしての表がかいてあるワークシートを用意する。※ピンビリピタ法の特徴を理解するように、ＰＭＩツールを使い板書にまとめる。☆「ピンビリピタ法」を使って、多くの子と長さの比較することができたか（ワークシート）○振り返りをしよう　・正しく比べることができたよ　・ピンビリピタ法は短い時間で、たくさんの人と勝負することができたよ　・次は数図ブロックの比べ方もやってみたいな　・他にも比べ方があるのかな

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｐ（よいところ） | Ｍ（こまった　ところ） | Ｉ（おもしろい　ところ） |
| ・片方が動かすことができないものでも比べられる・何回もできる | ・紙テープがないと、比べられない・同じ長さに切るのが大変だった | ・紙テープを使えて、新しい味方が増えた |

 |